第九講 ● 文学的文章⑤

◆性格をとらえる

物語では、登場人物の性格や人物像をとらえることで、より深い読み取りができます。

(1) 性格が書かれたことばをとらえる。

「短気だ」・「明るい」など、性格が直接に表されていることがあります。

(2) 会話・行動をとらえる。

会話や行動は、その人物の性格と結びついています。ある場面でどんなことを言ったか、どんなことをしたかによって、性格をとらえることができます。

(3) 心情をとらえる。

同じ状況でも、人によって心情はちがいます。心情をとらえることで、その人物の性格がわかります。

会話や行動、心情と性格が強く結びついているということは、ぎゃくの読み取りもできるということです。性格・人物像をとらえられれば、ある状況でその人物がどんな行動をとるか、どんな気持ちになるか、といったことがわかります。そのような読み取りのくりかえしで、読みをどんどん深めていくことができます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

　中山君は、背中を丸めて、熱心に筆を走らせていた。みんなの話し声も、一向に耳に入らないらしい。ほっぺたをふくらませ、口をぎゅっと結んで、［　　］かいていた。

「何をかいているのだろう。」

　ぼくは、そっと画用紙をのぞきこんだ。

　いきなり、ぼくの目に、海辺の景色がとびこんできた。ごつごつした岩と松林の向こうに、青い海が見える。小さな漁船が、三そうばかりうかんでいる。海の上には、大きな入道雲がわき起こっている。

　中山君の絵が、あまりすばらしかったので、ぼくは思わず、

「うまいなあ、中山君。」

と言ってしまった。

「それ、どこの景色なの。」

ときくと、中山君は、青い海の上に白い絵の具で波をかき足しながら、

「ぼくが、前に住んでいた所。」

と答えた。そして、めずらしく自分のほうから、低い声で、

「この海岸には、きれいな貝が、いっぱいあるんじゃ。海水浴もできるんじゃ。」

と説明してくれた。それは、聞きなれない言葉づかいだった。しかし、①中山君が口をきいてくれたので、ぼくは、とてもうれしくなった。

「景色のいい所だなあ。」

中山君の絵を見ながら、ぼくは、②もう一度感心してつぶやいた。

　ぼくたちの今住んでいる町は、にぎやかで便利だが、工場がたくさんあるので、年じゅう、空が灰色にくもっている。こんな海岸に住んでいたら、どんなに気持ちがいいだろうと、ぼくは思った。

　すると、中山君は、

「本当は、この絵よりも、百倍も、千倍も、きれいな所なんじゃやで。」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

と、得意そうに言った。

今度の声は大きかったので、前の席にいる女の子たちが、いっせいにふり向いて、くすくす笑った。中山君の言葉に変なまりがあったので、それがおかしかったのだ。

すると、中山君は、はっと気が付いたように顔を赤くして、それからは、もう何をきいても、一言もしゃべらなくなってしまった。いつもの中山君にもどってしまったのだ。

ぼくは、中山君がなぜいつもだまっているのかが、そのとき、やっと分かった。中山君は、自分の言葉のなまりがはずかしかったのだ。それで、笑われまいとして、しゃべらないように用心していたのだ。

それから、しばらくして、ぼくが病気になって欠席したとき、中山君は、自転車に乗ってみまいに来てくれた。

そのとき、ぼくがねむっていたので、中山君は、げんかんでお母さんに小さい紙包みをあずけたまま帰ってしまった。

ぼくは、目がさめてからその話を聞いて、残念でたまらなかった。③ねむっていなかったら、ゆっくり中山君と話すことができたのにと、思ったからだ。

（大石真「貝がら」）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　こっそりと　**イ**　むちゅうで

ウ　いそいで　**エ**　のんびりと

□

問二　――線①「中山君が口をきいてくれたので、ぼくは、とてもうれしくなった」のはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　気むずかしい中山君が初めて話をしてくれたから。

イ　無口な中山君がめずらしく話をしてくれたから。

ウ　中山君のグループにようやく入れたから。

エ　中山君とやっと仲直りできたから。

□

問三　――線②「もう一度感心してつぶやいた」のはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　中山君が口をきいてくれたことがうれしかったから。

イ　中山君におせじを言ったほうがよいと考えたから。

ウ　中山君の絵が本当にすばらしいと思ったから。

エ　中山君に絵を教えてほしいと思ったから。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「ねむっていなかったら、ゆっくり中山君と話すことができたのに」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちを表した次の文の〔　〕にあてはまることばを、文中から書きぬきなさい。

中山君と話すことができなくて、〔　　　　　　　　〕。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

〈「わたし」（可奈子（かなこ））たちのクラスはいがみ合ってばかりいたが、音楽祭に向けてまとまりを見せはじめた。〉

五十分まで待って集まったのはちょうど十人、女子の半数である。

「これだけじゃあね」

ひな子が、①くちびるをかんだ。

「でも、はじめよう。やるしかない」

幸子が、ひな子のアコーデオンをもって、ブーッと鳴らした。

これが、合図だ。

わたしたちは、ふるえながら歌った。

寒くて、ささやき声しか出ない。ときどき、犬の鳴き声がまじる。とたんに、曲がワワワワンとはやくなった。すぐ近くで、クラクションが鳴りひびく。すると、だれかがオペラ歌手のようなかん高い声をはりあげた。そのたびに、わたしたちは、指さしあって笑（わら）いころげた。が、笑っている場合ではなかった。へんなふるえ声……とふきだしたいのをがまんしているうちに、とつぜん、それが自分の声だと気づいたりもした。

「でも、ずいぶんよくなったみたいよ」

「うん、低音部の男子につられないわよ、もう」

「これで午後は、けっこうあわせられるわね」

「じゃ、学校へ行こう」

「寒いから、みんなで走ろう」

わたしたちは、前の人の背中（せなか）をこすりながら、小さいころした汽車ごっこのようにつらなって、学校まで走った。

けれども、この早朝練習は三日間しかつづかなかった。

四日目に、ひな子とまき子が学校を休んだ。②かぜで寝（ね）こんだのだと、先生から知らされた。

③「ほかにも、お母さんがたから、心配してなん回

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

か電話がありました」

上田先生は、早朝練習がいいとも悪いとも、これからどうしなさいとも言わなかったけれど、わたしたちは、がっかりしてしまった。しばらくは口をきく元気も出なかった。

これでまた、出発点にもどったわけだ。

同じころ、男子のほうでも、もめごとがおこっていた。

あまりに礼介が打ちこみすぎて、「もうちょっと」「もう一回だけ」と言いすぎたのだ。それで、男子が怒って、練習をとちゅうで投げだして帰ってしまった、というわけだ。

「なんで、こんなにまでしなきゃならない」

「斉藤が燃えるのは勝手だけどな」

「おれたちまで、まきこんでほしくないよな」

「かえろ、かえろ」

「どうせ、やっても勝てっこない」

礼介と哲也と幸子とわたし。

放課後のガランとした寒い教室に、けっきょく、はじまりと同じ、四人だけが残った。

④もうだめだ。

そのことばが、どうかすると、わたしの口からとびだそうとする。⑤でも、やっとおさえた。言ってしまえば、ほんとうに、なにもかもだめになってしまいそうだ。

（高田桂子『ふりむいた友だち』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「くちびるをかんだ」は、ひな子のどんな様子を表していますか。もっともよいものを次のうちから選（えら）び、記号で答えなさい。

ア　こまっている様子
イ　ふしぎがっている様子
ウ　怒っている様子
エ　残念がっている様子

□

問二　――線②「かぜで寝こんだ」とありますが、かぜをひいた原因（げんいん）はどんなことだと考えられますか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□□しか出ないほど□□ところで□□□□をしていたこと

問三　――線③「ほかにも、お母さんがたから、心配してなん回か電話がありました」とありますが、この話を聞いたときの「わたし」の気持ちをのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　お母さんたちはわたしたちのことを何もわかっていないな。
イ　早朝練習のことはひみつにしないといけないな。
ウ　お母さんたちに早朝練習を手伝（てつだ）ってもらおうかな。
エ　早朝練習を続（つづ）けるわけにはいかないな。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「もうだめだ」とありますが、「わたし」はなぜそう思ったのですか。

問五　――線⑤「でも、やっとおさえた。言ってしまえば、ほんとうに、なにもかもだめになってしまいそうだ」とありますが、ここからわかる「わたし」の性格（せいかく）としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　がまん強くものごとを進めていく強さを持っている。

イ　どんなことも、つい悪い方に考えてしまいがちである。

ウ　まじめで、いろんなことによく気がつく。

エ　考えるより先に、思いついたことをすぐに実行する。

問六　早朝練習に集まった女子の気持ちが一つになりかけていることがわかる一文を文中からさがし、その初（はじ）めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問七　この文章から読み取れる上田先生についてのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　生徒（せいと）のことを信用していない。

イ　生徒の自主性を重んじている。

ウ　生徒と友だちのようにつき合う。

エ　生徒との話し合いを大切にする。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　文学的文章⑤

一題目

問一　イ
問二　イ
問三　ウ
問四　残念でたまらなかった

二題目

問一　エ
問二　ささやき声・寒い・早朝練習
問三　エ
問四　(例)女子は早朝練習ができなくなり、男子ももめごとで練習できなくなったから。
問五　ア
問六　わたしした　～　走った。
問七　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。